

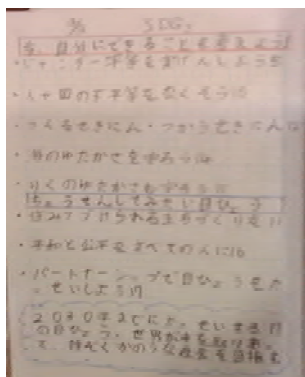
単元名	すてきな〇〇地区	
対象校種	☒ 小学校 ☐ 中学校 ☐ 高等学校 ☐ 特別支援学校	総合的な学習の時間
教科の目標	探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために3つの資質・能力を育成する。	
実践の様子	① SDGs17の開発目標について知る。 (1)教室に掲示している17のロゴマークの意味を知っているか問いかける。 (2) その意味について簡単に話す。 (3) 説明動画を見せ、今世界で起きている問題が具体的にどんな問題なのかをとらえさせる。 (ベネッセコーポレーションの動画を使用。 https://www.youtube.com/watch?v=wSQYKS7rRKY)  世界中の誰1人取り残さず達成するという目標です。 今までのペースで地球の資源を使い続けると100年以内に限界に達してしまいます。 いつまでも美しい地球で豊かに暮らしていくための目標です。 (4) 現在取り組んでいる町の魅力発見は、「11. 住み続けられるまちづくり 14. 海の豊かさを守ろう 15. 陸の豊かさを守ろう」に関連していることを知る。 ②SDGs カードを使って、17の項目を身近なものとするゲームと調べ学習をする。 (クラス32名または33名×3クラスで実施、クラスにカードを2組使う。) (1) 子供たちに絵を伏せてカードを1枚配付する。「はじめ」の合図で、自分と同じカードを持っている友達を探し、2人ペアを作る。 ・ペアの友達を探す時のルール。(数字を言わない。質問する「何色ですか」「動物の絵はありますか」「人の絵はありますか」等)  【カードでペアさがし】 ➡  【ペアの友達と目標の意味を調べる】	

(2) ペアになった友達とタブレットを使って自分たちのカードの内容を動画を視聴して調べて知る。

(こども SDGs のページ

<https://www.youtube.com/playlist?reload=9&app=desktop&list=PLQK0pRSh9-dXVILNhqT2I+BIHgC0yUrpZ>)

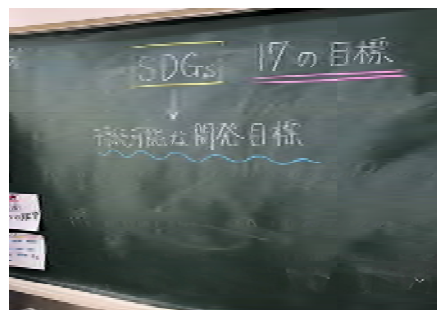
③ペアの友達と調べた項目以外のことについても家庭学習（自主学習）で調べて知る。(任意)



成果と課題

- ◎毎年第3学年で行っている総合のテーマをSDGsと関連させて活動することができるようになった。
- ◎世界的な課題について自分事として捉え、自主学習でも取り組んだ児童がいた。
- ◎ZOOMを使用して学年3クラス同時にSDGsの説明やカードゲームのやり方など、同一内容を伝えることができた。
- ▼時間が押してしまっていて、その時間内に振り返りを行うことができなかった。総合のテーマのまとめを発表する時にSDGsについても触れて考えさせ思考や行動を持続させたい。

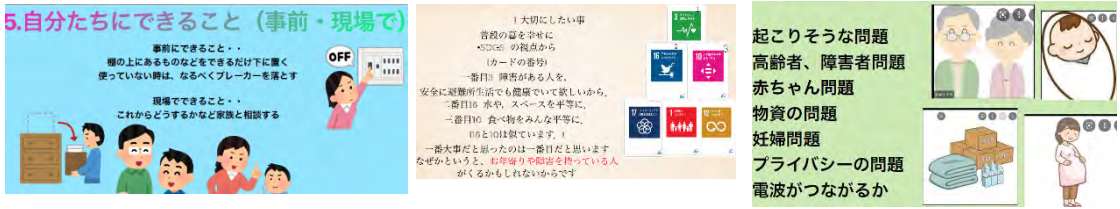
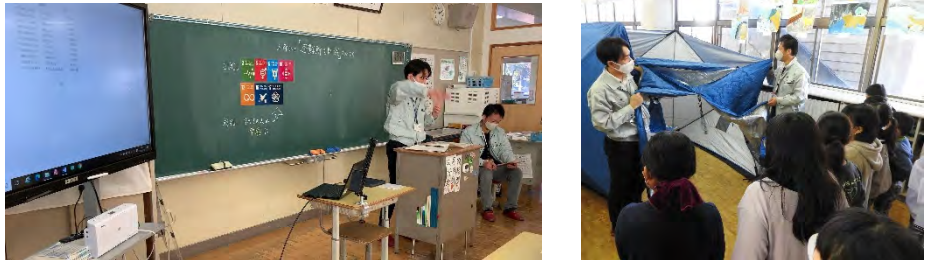
単元名	SDGs って知ってます??	
対象校種	☒ 小学校 ☐ 中学校 ☐ 高等学校 ☐ 特別支援学校	総合的な学習の時間
教科の 目 標	SDGsについて知り、地球が抱えている問題を自己の問題とする	
実践の 様 子	①SDG の英語と和訳について ・Sustainable Development Goals ・持続可能な開発目標 →地球規模の目標があり、自分たちの目標であることも意識させる	
	②目標の数を知る 「17個も目標があるんだ」 「言葉が難しいな」 →わからない言葉をタブレットで検索する	
	③達成できそうな目標、達成が難しそうな目標をグループで選ぶ 「すぐできそう」「本当??」 「これは無理!」「すでにやってる」 →フラットな目線で目標にふれることを大切にする	
	④カードゲームをする (ルール)より達成したいとプレゼンできた方が勝利、判定はグループで行う →盛り上がりながらプレゼンゲームを行い、SDGsを自己の問題として捉えることができた	



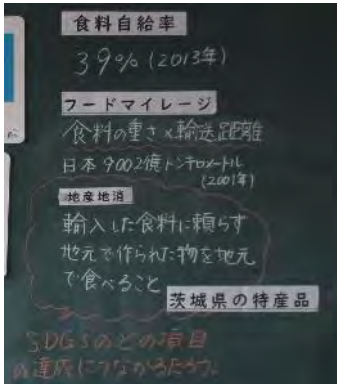
単元名	みんなで知ろう！SDGs みんなで実践！SDGs	
対象校種	☒ 小学校 ☐ 中学校 ☐ 高等学校 ☐ 特別支援学校	総合的な学習の時間
教科の目標	SDGs「持続可能な開発目標」を正しく知り、日本と世界とのつながりを考える中で、自分自身の生活ぶりを振り返り、SDGsの視点を育む。	
実践の様子	①「持続可能な開発目標」って？ SDGs絵カードを使って、かるた取りをしたり、ゴー・ゴールズを活用したりすることで、正しく17の「持続可能な開発目標」を理解する。 →17の開発目標とその内容を正しく理解した上で、今の日本の最大の課題は何かを「各国のSDGs評価」から知る。 →「5 ジェンダー平等の実現」「13 気候変動に具体的な対策を」「14 海の豊かさ」「15 陸の豊かさ」「17 パートナーシップで目標達成」の5項目が「最大の課題」であることをクイズ形式で知る。 ②自分にできる「持続可能な開発目標」実現って？ SDGs絵カードの中から、自分自身の身近な生活において、自分で実現可能なSDGs目標を選び、班で話し合う。 →「ジェンダー平等なら、男女の別なく、会話したりグルーピングしたり役割分担したりすれば可能」との意見が出される。 ③アフリカとつながりのあるものは？ 「JICA地球ひろば」で発行されているワークシートを活用し、ワークシートに描かれた日本に馴染みのある品目の中で、アフリカとつながりのあるものを班で話し合って選び、発表する。 →日本とアフリカとどのようにつながりがあるのかをシェアタイム（交流活動）を通して、話し合う。 アフリカとのつながりが「カカオ」「ダイヤモンド」等は想像しやすいが、「携帯電話」「うなぎ」等は、つながりがあると気付かない班が多かった。 ④日本のみでは今現在の生活が成り立たないことを学び、SDGsの実現は、世界規模で取り組むべきことであることを理解する。 イラストにあった「モノ」が全て、アフリカから原材料等が輸入されており、日本は、その恩恵を受けていることを知る。 →児童から驚きの声上がる。 ⑤本時の活動の振り返りをする。 3Rを守る。有限な資源を大切に使う。衝動買いをせず、買い物は必要最小限にする。「ごみ」にしない。資源を無駄遣いしない等の発表がなされた。	



※「ゴー・ゴールズ！すごろくでSDGsを学ぼう」は、国際連合広報センターが作成した教材です。

単元名	地震からくらしを守る／避難所開設を福祉・SDGs の視点から考える(重点 3,9,11)	
対象校種	☒ 小学校 ☐ 中学校 ☐ 高等学校 ☐ 特別支援学校	社会科 総合的な学習の時間
教科の 目 標	・地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。(知識・理解) ・過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。(思考・判断・表現)	
実践の 様 子	①避難所を開設するときに大切だと考えることを出し合った。段階1:初期の理解 総合的な学習の時間の大テーマである「福祉の考え方」(誰もが幸福に生活を送る)を基本にすることをおさえた。  ②SDGsカードを活用して、避難所設営におけるSDGsピラミッド(SDGsに優先順位をつけ6つにしぼったもの)を設定した。その優先順位にした理由を話し合い、グループごとに発表を行った。  ③避難所における1日の生活を考えた。その中で浮かんでくる問題点を見つけた。 (例) ペットはどうする?教室は使える?仕切りは市で用意してくれるかな?など また、避難所で必要な物、持っていくべき物を考えた。 ④グループで改めて話し合い、深く関係している SDGsピラミッドを再構築した。 グループで避難所開設のテーマ(大切にしたいこと)を設定した。段階2:深い理解 ⑤iPad(keynote)でスライドを作成した。SDGsカードをデータ化することで、スライド作りに生かせるようにした。その後、各々のスライドを用いて発表をした。  ⑥作ったスライドを事前に市防災課の方に見てもらい、防災教育のゲストティーチャーとして講評をもらった。また、実際に避難所を設営する立場からのお話を聞いた。解決しなかった疑問を質問させてもらったり、設営の際に使う道具を見せてもらったりした。 	

単元名	SDGsって何だろう? ～〇〇っ子チャレンジ～	
対象校種	☒ 小学校 ☐ 中学校 ☐ 高等学校 ☐ 特別支援学校	総合的な学習の時間
教科の 目 標	SDGsについて知り,自分たちの課題とリンクさせ,行動に表す。	
実践の 様 子	① 未来について自分たちの希望や不安を話し合う。 (自分たちの気づき)	希望 ・みんなと仲良く暮らしたい。 ・お金持ちになりたい。 ・将来の夢を叶えたい。 不安 ・自然災害が怖い。 ・感染症・病気が心配。 ・働けるか不安。
	② 動画を見てSDGsについて知る。	動画「SDGsってなんだろう?」 (Benesse)
	③ SDGs17項目について知ろう。	SDGsアイディアシートを読みながら,気になる問題をチェックする。
	④ (自分たちの気づき)をSDGs17に結び付け,〇〇っ子チャレンジでできることを考える。	台風が怖い→SDGs13→地球温暖化→CO2削減→電気をこまめに消す。
	⑤ SDGsカード合わせゲームをする。	自分の考えたチャレンジアクションを紹介しながら,カードを見せる。
		

単元名	米作りについて調べよう～調べて体験！米作り～	
対象校種	☒ 小学校 ☐ 中学校 ☐ 高等学校 ☐ 特別支援学校	総合的な学習の時間
教科の目標	・調べ学習やバケツ稲体験を通して、郷土の特色や良さについて知る。 ・課題を解決するために、進んで調べたり働きかけたりしようとする。 ・自分の考えを伝える活動を通して、表現する力を高める。	
実践の様子	① SDGsについて知る。 動画の視聴を通してSDGsや17の目標について知る。  ② 「食料自給率」や「フードマイレージ」、「地産地消」について考える。 社会科で学習した食料自給率や輸入品の輸送手段について振り返り、動画を視聴する。また、給食の献立に〇〇市産のお米が使われていることに触れ、地産地消の取組についての意識を高める。  ③ 学習のめあてを確認し、地産地消がどの目標の達成につながるか考える。 SDGsカードを使い、グループで考えを伝え合う。地産地消を通して目標を達成できると考えた理由を、カードに記入する。  ④ タブレット端末を活用し、考えを共有する。 各班の考えを共有し、地産地消とSDGsとの関係について自分事としてとらえられるようにする。  ⑤ 自分たちにできる地産地消を考える。 次回、茨城県の特産品を調べ、「ごはんとおみそしる」作りの献立を考えることを確認する。また、考えた献立は冬休みの課題として実際に家で調理することを確認する。 	